

2016 年度（10 月入学）
鳥取大学大学院連合農学研究科（博士課程）
外国人留学生特別入試 募集要項

鳥取大学大学院連合農学研究科は、鳥取大学大学院農学研究科、島根大学大学院生物資源科学研究科及び山口大学大学院創成科学研究科農学系専攻の修士・博士前期課程の講座と附属施設を母体として編成され、各構成大学の研究科と密接な連携協力のもとに運営されている。

本研究科では、農学及びその関連分野に関しての課題探求能力と豊かな学識、高度な技術を備え、科学技術の発展と地域あるいは国際社会の要請に貢献できる研究者や高度専門職業人を養成することを目的とし、(1)生物生産科学専攻、生物環境科学専攻、生物資源科学専攻及び国際乾燥地科学専攻の各専攻分野で必要とされる基礎知識と学力を有する人、(2)より高度な専門的知識や技術の獲得、さらにそれらを応用した独創的な研究に取り組む意欲のある人、及び(3)科学技術の発展と地域や国際社会の要請に寄与したいという強い意欲のある私費外国人留学生を求めており下記により募集する。

1. 専攻分野及び募集人員：

- (1) 専攻分野：生物生産科学、生物環境科学、生物資源科学、国際乾燥地科学に関する研究分野で、鳥取大学大学院連合農学研究科の主旨指導資格教員に研究指導が受けられるものであれば、何れの分野であってもよい。
- (2) 募集人員：私費外国人留学生 若干名

2. 出願資格及び条件：

- (1) 国籍：日本政府が承認する国（なお、新たに海外から留学するものであること。）
- (2) 年齢：年齢は問わない
- (3) 学歴：修士の学位を取得した者及び平成 28 年 9 月末日までに取得見込みの者
- (4) 健康：心身ともに大学院における学業に支障がないこと
- (5) 語学力：研究指導等は主として英語又は日本語で行うことから、英語又は日本語能力が十分であること
- (6) 渡日時期：平成 28 年 10 月 1 日から 10 月 7 日までに必ず渡日可能な者
- (7) その他：
 - (A) 所属大学等の研究科長等以上から推薦された者
 - (B) テレビ会議システム等を用いて対面形式により、口頭試問委員による口頭試問を受けることができる者

3. 出願・試験日程・合否結果：

	期 日	備 考
出 願	平成 28 年 4 月 1 日(金)～5 月 31 日(火)	希望主指導教員を通して鳥取大学農学部連大学務係に提出すること。
試 験	出願書類提出後 30 日以内に、主指導教員予定者を通して、試験（口頭試問実施）日程を本人に通知する。 平成 28 年 5 月 2 日（月） ～6 月 30 日（木）の間で実施する。	「5. 入学者選抜の実施方法」に定められた方法で口頭試問を行う。
合否結果	試験後 30 日以内に主指導教員予定者を通して本人に通知する。	合格者には「合格通知書」を送付する。

4. 応募手続：

応募者は、下記の書類を出願期間中に、希望主指導教員を通して鳥取大学農学部連大学務係に提出すること。

- (1) 入学願書（様式第 1 の 2 号） 正本 1 部
- (2) 写真 1 枚：入学願書に貼付。上半身・無帽・正面向・3 か月以内撮影のもの（縦 4cm×横 3cm）
- (3) 履歴書（様式第 2 号） 正本 1 部
- (4) 修士課程修了証明書又は修了見込証明書
- (5) 成績証明書：出身大学院の研究科長（又は学長）作成のもの
（様式不問、様式第 3 号でも可）
- (6) 検定料：30,000 円（現金）
- (7) 修士論文等
 - (A) 修士課程修了者
 - (a) 修士論文の写（論文がない場合は、これに代わるもの）
 - (b) 修士論文の概要（A4 用紙に、和文の場合は 2,000 字程度、英文の場合は 1,200 語程度で記入。表紙に様式第 5 号を使用。）
 - (B) 修士課程修了見込の者
 - (a) 研究経過報告書（A4 用紙に、和文の場合は 12,000 字程度、英文の場合は 5,000 語程度で記入（図表を含む））
 - (b) 研究経過報告書の概要（（A）-（b））に準じて作成、表紙に様式第 5 号を使用。）
- (8) 研究計画書：入学後の研究分野・研究内容について A4 用紙に記入。
（表紙に様式第 6 号を使用。）
- (9) 志願理由書：本研究科を選択した動機、今後の目標や目的を A4 用紙に記入。
（表紙に様式第 7 号を使用。）
- (10) 受験承諾書（様式第 8 号）：官公庁、会社等に在職している者のみ
（所属長又は代表者の公印押印）
- (11) パスポートの写し、又は本国の戸籍謄本、又は市民権等の証明書の写し

(12) 所属大学等の研究科長等以上の推薦書

【注意事項】

- ① 申請書類は、すべて英語又は日本語により出来るだけタイプを用いて作成すること。
- ② 上記申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、また提出期限が過ぎたものについては受理しない。
- ③ 提出書類の返却はしない。
- ④ 希望する主指導教員名を入学申請書に記入すること。入学申請書に主指導教員名の記入がない場合、出願書類は受理しない。志願者は主指導教員予定者と密接な連絡をとり、出願書類を作成すること。
- ⑤ 納入された検定料は返還しない。

5. 入学者選抜の実施方法：

- (1) 入学者選抜は、口頭試問、提出書類の評価等を総合して行う。
- (2) 口頭試問は、3 名以上（主指導教員予定者を含む各構成大学から 1 名以上）の口頭試問委員がテレビ会議システム等を用いて対面形式により、修士論文等の内容及び研究計画書を中心に 50 分程度（内容説明 30 分程度、質疑その他 20 分程度）実施する。
- (3) 口頭試問の実施方法については、主指導教員予定者が「口頭試問実施方法届」（様式第 12 号）を出願時に研究科長に提出し、代議委員会において口頭試問実施方法の承認を得なければならない。

6. 入学手続等

- (1) 入学手続期間：平成 28 年 9 月上旬頃を予定。合格者に後日通知する。
- (2) 入学時に要する経費
 - (A) 入学料：282,000 円（予定額）
 - (B) 授業料：（後期分）267,900 円（予定額）　〔年額は 535,800 円（予定額）〕
※入学料、授業料は予定額。入学時及び在学中に改訂があった場合は、改訂後の入学料、授業料を徴収する。
 - (C) 学生教育研究災害傷害保険制度：この保険は学生の正課中・通学中・課外活動中及び学校施設内における不慮の災害事故によって、身体に傷害を被った場合の補償制度であり、全員加入を推奨している。保険料は、3 年間分で 2,600 円である。

7. 研究指導：

- (1) 研究指導等は主として英語又は日本語で行う
- (2) 在籍身分は正規の大学院生である。学生は構成大学の教員（主指導教員 1 名及び副指導教員 2 名）により研究指導を受ける。学生は、主指導教員が専任として在籍する構成大学に配置され研究指導を受けるが、他の構成大学の施設・設備も利用することができる。

8. 注意事項：

- (1) 提出書類等の記載事項に虚偽の記入がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- (2) 留学生は渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況についてあらかじめ研究しておくことが望ましい。また、日常生活は日本語での生活になることについて十分理解しておくこと。

【問い合わせ先】

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学大学院連合農学研究科（農学部連大学務係）

TEL：0857-31-5446 FAX：0857-31-5683 E-mail：ag-rengaku@adm.tottori-u.ac.jp

【構成大学の所在地】

鳥取大学

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大学農学部

TEL：0857-31-5346 FAX：0857-31-5347

島根大学

〒690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学生物資源科学部

TEL：0852-32-6492 FAX：0852-32-6499

山口大学

〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学農学部

TEL：083-933-5800 FAX：083-933-5820

主指導教員となり得る者の教育研究分野一覧

※：国際農林水産業研究センターとの連携

1. 生物生産科学専攻

(1) 農業生産学連合講座

浅尾 俊樹（島根）	園芸生産学	野菜・花卉の生産技術に関する研究
板村 裕之（島根）	果実成熟生理学	果実の成熟に伴う生理的变化に関する研究
小葉田 亨（島根）	作物生産生態学	作物の生産改善のための生理・生態的研究
小林 伸雄（島根）	園芸育種学	植物遺伝資源の評価と育種利用
※許 東河（鳥取）	植物遺伝資源学	作物の環境ストレス耐性に関する遺伝的研究
高橋 肇（山口）	作物学	作物の省力・低投入型栽培体系の確立に関する研究
田村 文男（鳥取）	園芸学	ニホンナシの自発休眠制御に関する研究
中務 明（島根）	園芸分子育種学	園芸作物における有用形質関連遺伝子の解析と育種利用
※福田 善通（鳥取）	作物遺伝育種学	イネ農業形質の多様性、分化、遺伝様式に関する遺伝育種学研究
松本 真悟（島根）	土壌・作物栄養学	土壌肥沃度に対応した作物の養分獲得機構の解明
松本 敏一（島根）	果樹園芸学	果樹栽培と加工品に関する研究
山本 晴彦（山口）	環境情報科学	光学的計測法による植物の生育診断

(2) 森林資源学連合講座

伊藤 勝久（島根）	森林政策学	森林・林業政策及び条件不利地域対策に関する実証的研究
長澤 良太（鳥取）	景観生態学	中山間地域における自然、人文、社会環境の景観生態学的研究
日置 佳之（鳥取）	生態系保全・復元計画学	生物多様性の保全と復元のための生態学的な計画と技術
藤本 高明（鳥取）	木材理学	木材性質変動の解析および計測評価手法の開発

(3) 経済・経営学連合講座

伊藤 康宏（島根）	漁業史	日本漁業の近現代史研究
内田 和義（島根）	農業史	日本における近代農学成立の研究
能美 誠（鳥取）	地域産業計画学	地域農業計画・分析手法の開発および適用
古塚 秀夫（鳥取）	農業会計学	農業会計原則と農産物生産費計算の確立
松田 敏信（鳥取）	消費者行動学	計量経済学による消費者行動の研究、特に食料需要の実証分析
万 里（鳥取）	流通情報解析学	農産物の流通経路と市場情報の計量経済分析

2. 生物環境科学専攻

(1) 生産環境工学連合講座

猪迫 耕二（鳥取）	水土環境保全学	水土環境の保全と再生ならびに持続可能な利用に関する研究
緒方 英彦（鳥取）	水利施設工学	水利構造物の建設材料と構造性能の評価
喜多威知郎（島根）	水緑利用学	合理的な水資源利用計画と管理および緑化による環境改善
宗村 広昭（島根）	流域環境工学	湖沼流域の水環境保全と開発との調和に関する研究
武田 育郎（島根）	水質水文学	集水域における面源汚濁の評価と制御
谷野 章（島根）	生物環境電気工学	生物環境関連技術への電気工学の適用

(2) 環境科学連合講座

會見 忠則（鳥取）	微生物生産科学	微生物による食料及び有用物質生産の生化学・分子生物学
荒西 太士（島根）	遺伝生態学	水域生物資源の進化、生態および保全に関する分子遺伝学研究
石原 亨（鳥取）	天然物化学	植物・微生物が合成する代謝産物の機能、生理活性、生合成に関する研究
一柳 剛（鳥取）	有機化学	合成化学的アプローチによる生物活性化合物の機能解明
井藤 和人（島根）	土壤微生物学	微生物と植物間の相互作用
伊藤 真一（山口）	植物病理学	植物病原体ゲノムの構造と機能
上野 誠（島根）	植物病理学	植物-病原菌の相互作用における抵抗性発現に関する研究
木原 淳一（島根）	植物病理学	植物病原糸状菌の光環境応答
児玉基一朗（鳥取）	植物病理学	植物-微生物相互作用と植物耐病性の分子機構
佐藤 利夫（島根）	環境衛生工学	排水の高度処理や環境水の浄化・保全のための新技術や機能性材料の開発
霜村 典宏（鳥取）	菌類育種栽培学	きのこ類遺伝資源の育種・栽培に関する研究
竹松 葉子（山口）	昆虫生態学	シロアリの多様性と生態に関する研究
中桐 昭（鳥取）	菌類多様性学	水生環境に生息する菌類の分類・生態・適応進化
前川二太郎（鳥取）	菌蕈分類生態学	きのこ類の種多様性と生態的機能に関する研究
松本 晃幸（鳥取）	菌類遺伝資源学	菌類遺伝資源が持つ有用遺伝子の単離・解析とその活用
宮永 龍一（島根）	昆虫生態学	野生ハナバチ類の生態と管理に関する研究

3. 生物資源科学専攻

(1) 生物機能科学連合講座

赤間 一仁 (島根)	植物分子生物学	植物の tRNA の発現制御機構と γ -アミノ酪酸の生理機能の解明
阿座上弘行 (山口)	分子微生物学	バクテリアの宿主表面への定着の分子メカニズム
東 政明 (鳥取)	分子昆虫学	昆虫細胞の特異的機構の解明とその有効利用
有馬 二郎 (鳥取)	生命機能化学	微生物・酵素の新奇機能探索とメカニズムの解明、及びその利用
石川 孝博 (島根)	植物分子生理学	光合成生物における抗酸化物質合成と活性酸素代謝機構
尾添 嘉久 (島根)	化学生物学	神経伝達物質受容体とイオンチャネルの生体分子シグナリング機構
川向 誠 (島根)	遺伝子工学	真核生物情報伝達系と細胞周期の制御, コエンザイム Q の生合成
※小杉 昭彦 (鳥取)	応用微生物学	微生物機能を用いたバイオマス資源利用技術の開発
澤 嘉弘 (島根)	酵素科学	アミノ酸代謝関連酵素の構造と機能
中川 強 (島根)	植物分子遺伝学	植物の発達メカニズムの解明と植物遺伝子解析技術の開発
西川 彰男 (島根)	動物発生生物学	両生類を用いた細胞増殖, 分化, 細胞死, 形態形成に関する研究
松崎 貴 (島根)	発生生物学	皮膚および附属器の発生ならびに再生機構
真野 純一 (山口)	植物生産生理学	植物の環境ストレス耐性機構の解明と応用

(2) 資源利用化学連合講座

河野 強 (鳥取)	生物有機化学	環境応答による休眠・代謝・寿命の制御機構
山本 達之 (島根)	生命分子分光学	分子分光学の生命科学や医療への応用
横田 一成 (島根)	細胞生命化学	食品・医薬品関連物質と生体との相互作用に関する分子細胞生物学的研究
渡辺 文雄 (鳥取)	食品科学	食品に含まれるビタミン B12 関連化合物の化学的性質と栄養評価に関する研究

4. 国際乾燥地科学専攻

(1) 国際乾燥地科学連合講座

明石 欣也 (鳥取)	分子細胞生物学	耐乾性植物のストレス分子応答および環境耐性植物の分子育種
一戸 俊義 (島根)	家畜飼養学	反すう家畜の栄養と生産システムの評価
荊木 康臣 (山口)	生物環境調節工学	環境制御型植物生産システムに関する研究
木村 玲二 (鳥取)	境界層気象学	乾燥地における熱収支・水収支の解明に関する研究
辻本 壽 (鳥取)	分子育種学	遺伝子および染色体工学的手法による乾燥耐性作物系統の育種
恒川 篤史 (鳥取)	保全情報学	乾燥地における植物生産および生態系変化のモニタリングとモデリング
藤巻 晴行 (鳥取)	土壤保全学	乾燥地における塩類集積および土壌浸食の防止と修復技術の開発
増永 二之 (島根)	土壤圏生態工学	土壌の環境維持・修復機能および植物生産機能の制御と利用
安田 裕 (鳥取)	乾地環境システム工学	乾燥地における水圏環境システムの定量的評価
山中 典和 (鳥取)	乾地緑化学	乾燥地における樹木の生態学的研究
山本 定博 (鳥取)	環境土壌学	乾燥地における土壌環境の保全と農耕地の持続的利用に関する研究